

～福岡女子大学食育支援プロジェクト～ 設立の背景と活動の概要

背景

平成17年に食育基本法が施行され、各地で様々な食育の取組が行われている。本学では全国に先駆けて、平成15年秋食育ボランティア学生ネットワークを立ち上げ、栄養健康科学科の学生のほとんどが登録し、多くの実践活動を行っている。今後ますます、国や地域における食育のニーズ、特に本学に対する基礎的・実践的研究の期待は大きく、実態に即した的確な食育活動を展開するための拠点が必要である。

目的

公立大学法人の管理栄養士養成施設として、地域と連携して行う食育活動に、教員と学生が協力して取り組むための体制をつくり、効果的な食育手法の提案と実践活動、その効果の検証を通して、今後の地域社会からの「食と健康」に関する多様なニーズに対応できる組織へと成長させ、食育の拠点として機能する。

研究調査体制と概要

福岡女子大学スタッフ 栄養健康科学科の食育支援専門家チームを形成

人間環境学部栄養健康科学科及び大学院人間環境学研究科の教員及び研究室スタッフ
早淵仁美(代表) 野口孝則(総務) 梅木陽子(庶務)、 他栄養健康科学科教員有志者
各研究室の大学院生 及び 研究生・卒論生

国・福岡県・市町村

食育ボランティア学生

食育関連団体

連携・協力・支援

管理栄養士
栄養士

学術的研究

- ・食育手法の検討
- ・評価手法の検討
- ・調査システムの開発
- ・食育ツールの開発
- ・分析システムの開発
- ・調査研究



実践的研究

- ・企画・立案
- ・実態調査協力
- ・食育手法の提案
- ・食育ツールの提供
- ・実施人的支援
- ・分析・評価・報告



学校

保育所

地域

事業者

生産者



食育推進の基礎となる
システムの構築・情報収集

実態に即した食育手法の提案
効果的な食育活動の展開・支援

これまでに多数の食育実践研究活動の成果が得られた。今後も、継続的に取り組むことで地域に貢献し、福岡県や九州における食・健康・教育の研究拠点として発展させる。特に、管理栄養士養成を行う公立大学法人として、また産学官連携による社会貢献プロジェクトとして、食育推進の一翼を担っていく。